

令和7年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%			○		
理科	57.1%		○			

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%	○				
話すこと・聞くこと	66.3%					○
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%			○		

【考 察】

- 毎日の授業において、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることや、話し合い活動で自分の立場を明確にしながら考えをまとめることを積み重ねてきたことで、話す・聞く力が向上しました。
- 「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことに課題が見られました。自分たちの使っている言葉とは異なる言葉があることや、世代特有の言葉遣いがあることに気付き、言葉への関心を深めていくことができるよう指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%	○				
測 定	54.8%			○		
変化と関係	57.5%					○
データの活用	62.6%					○

【考 察】

- 「数と計算」の領域において、朝の「ステップタイム」や単元末の「白ータイム」を活用し、繰り返し基礎的・基本的な学習に取り組んだことにより、計算力及び理解力が向上しました。
- 「図形」の領域において、図形を構成する要素とその関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察することに課題が見られました。今後の授業において、辺の長さや大きさ、辺の位置関係などの図形を構成する要素に着目して、図形を弁別したり、形が複雑な図形の面積の求め方を説明したりする活動を位置付けていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%	○				
生 命	52.0%	○				
地 球	66.7%		○			

【考 察】

- 電気の回路のつくり方、顕微鏡を操作する力に課題が見られました。今後は授業において、児童が正しい技能を身に付けるとともに、実験器具を操作する場を意図的に位置付け、実感を伴った理解につなげていきます。
- 種子が発芽する条件を調べる実験において、条件をそろえる観察や実験の方法を計画できるかどうかをみる問題に課題が見られました。変える条件と変えない条件を整理しながら解決方法を考えることについて、意識して授業を改善していくことが大切と考えます。